

いずもぎき

議会だより

第73号

2011
平成23年11月7日

祝 出雲崎中学校創立40周年記念式典・校内発表会



9月定例会

もくじ

・平成22年度決算認定	2
・9月定例会	4
・臨時会、全員協議会	6
・一般質問(3人が町政をたずね)	8
・前号の質問に対する答え	11
・町民の声「自分の力で頑張る」	12

決算認定

1千円 総額 55億5353万6千円 (前年比 2億3052万4千円減)
 6千円 総額 53億4386万8千円 (前年比 2億5615万5千円減)

一般会計 まつり、汐風ドリ-夢きずな等の負担金
 海水浴場整備・観光協会補助金など
 3506万6千円

一般会計 資源ごみ、一般ごみ廃棄物処理
 し尿処理費など
 8305万7千円



きずなイベント風景



ごみ収集風景

一般会計 道路改良、町道尼瀬稲川、
 乙茂藤巻神条、立石稲川線など
 1億6610万2千円

一般会計 林道の新設舗装工事森林整備
 活動支援交付金など
 1億742万9千円



立石地内



滝谷地内

注目された事業・重点事業は

平成22年度

一般会計並びに特別9会計の決算は

歳入 一般会計 37億1000万5千円 特別会計 18億4353万

歳出 一般会計 35億4188万2千円 特別会計 18億 198万

一般会計

小学校バス運行、小学校トイレ改修
町民体育館外壁改修工事費
7843万5千円

一般会計

海岸背後地ウォーキングロード(新規)、
町道海岸線美化工事(継続)
5741万2千円



新しくなったトイレ



鳴滝町地内

特別会計

介護サービス、予防給付費
5億7133万2千円

特別会計

人間ドック、メタボ健診など
1476万円



パワーリハビリの風景



問診票、健康手帳

9月定例会

(会期 9月13日～9月22日 10日間)

一般会計補正額3603万円
補正後の総額36億1226万3千円



鳴滝町地内

災害に
備えて!!

主な歳出

- ・ 要援護者マップ作成
500万円(整備事業委託料)
- ・ 津波避難路整備
189万円(調査業務委託料)
- ・ 避難者用寝具 43万4千円

定住促進
目指せ!

- ・ 街なみ環境開発
500万円 (基金繰出金追加)
- ・ 住宅用地造成
170万9千円(特会繰出金追加)
- ・ 若者向け石井町住宅宣伝費
200万円



石井町町営住宅

本定例会では議会報告3件、平成22年度一般会計、特別会計決算、平成23年度一般会計、特別会計補正予算、条例制定、人事案件など議案29件が提出され、慎重審議の結果、原案のとおり可決、認定、同意しました。尚、請願1件、陳情1件を採択し、議員発議2件を可決しました。

可決した条例改正など(主なもの)

◆出雲崎町暴力団排除条例制定(新規)

・町工事等の入札に暴力団を参加させないこと、資金源となる利益の供与等の禁止、青少年等に対する指導を関係機関と連絡を密に行い、町民等に暴力団排除の重要性について理解を深めるための情報提供、広報活動等に取り組むための措置

◆出雲崎町営住宅条例の一部を改正する条例制定

・新しく石井町にできる若者向け町営住宅に係る一部変更で、入居者が土地・住宅を購入することもでき、石井町住宅を購入された場合、家賃を基に新生活支援金を支給するための措置

他8件

可決した意見書

◆郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書

◆私立高校生が学費を心配せず学べるように、学費軽減助成と経常費助成の増額・拡充を求める意見書

関係各機関へ提出しました。

人事案件

選挙管理委員

海野知現
佐藤文男
内藤恒
内藤喜四郎

選挙管理委員補充員

松浦範夫
田口正男
渡邊毛ト
安達伸明

固定資産評価審査委員

森山一郎
中野正和

特別会計

	補正額	補正後の予算額
国民健康保険事業	1987万5千円	5億5651万3千円
介護保険事業	1397万4千円	6億5097万4千円
農業集落排水事業	80万 円	1億7360万 円
住宅用地造成事業	180万 円	1011万8千円

8月臨時会 (会期 8月22日 1日間)

7月5日の
豪雨災害復旧

一般会計第4号 補正額 4922万9千円

主な歳出

- ・ 農業用施設災害復旧工事 900万円 (大釜谷)
- ・ 林道災害復旧 120万円 (常楽寺線・吉川滝谷線ほか2件)
- ・ 23年災 道路災害復旧工事 (小木相田線ほか2件) 補助分 1800万円
- ・ 23年災 道路災害復旧工事 (10路線 10ヶ所) 町単独分 800万円
- ・ 23年災 河川災害復旧工事 補助分 300万円 (小木川)
- ・ 23年災 河川災害復旧工事 単独分 100万円 (藤巻川)

全員協議会

第6回 8月19日開催

主な質疑について報告します。

7月の豪雨災害の状況について

(総務課・産業観光課・建設課)

6月下旬から7月の降雨の状況が報告され、被害が河川道路、農業施設など多数発生した旨、報告がありました。特に議員より、吉川地内の河川について、早急な改修が必要との意見が出されました。

津波の緊急避難場所の見直しについて(総務課)



町道豊橋常楽寺線の被害状況

8月4日に現

地調査を実施し、避難路、避難場所の見直しを検討中です。整備についてはコンサルタントに依頼して進めます。10月30日に避難訓練を実施予定。議員からは弱者対策、地元の意見を聞く、避難路の整備などの要望、意見が出されました。

住宅用地造成事業箇所について(建設課)

山谷地内に4,000平方メートル、8区画(一区画、110坪)を造成します。

石井町町営住宅の入居者条件について(建設課)

入居条件は町の条件を満たした世帯で、入居者の選考は家族構成、人柄、収入などを総合的に判断し決定します。入居者が希望するときは、住宅と敷地を合わせて譲渡することができます。また、入居から10年以内に入居する場合は支援金を補助します。議員からは入居者は収入の多い世帯を優先する、譲渡時に問題が生じないように境界を明確にすべきなどの要望が出されました。

第7回 9月22日開催

消防水利計画について(総務課)

今後5年間の計画について、防火水槽設置、消火栓の付替工事、水道本管の布設替え計画について説明があり、議員からは既設の消火栓の管理を徹底すべきなどの意見が出されました。

「出雲崎宝もの新発見事業」について(教育課)

初年度の今年、集落・個人を問わず自慢の「宝もの」を探し出し集約します。議員からは、良寛記念館・天領の里時代館・石油記念館の所蔵品についても調査すべきなどの意見が出されました。

全員協議会とは

法的な裏付けのある議長の招集で開かれる会議です。一般公開されておりますので、ぜひ傍聴においでください。

10月臨時会 (会期 10月12日 1日間)

議長の辞職に伴い10月の臨時会が開かれ新しい議長に中野勝正氏が就任されました。議会運営委員長、農業委員の辞任があり各委員会の交代、農業委員の議会推薦がありました。また、行政からの報告1件がありました。

議長 中野勝正 副議長 山崎信義

	総務文教常任委員会	社会産業常任委員会	議会運営委員会
委員長	諸橋和史	田中元	小林泰三
副委員長	小林泰三	三輪正	諸橋和史
委員	田中政孝	仙海直樹	田中元
委員	中川正弘	宮下孝幸	
委員	中野勝正	山崎信義	

農業委員会委員 三輪正

日付	内容
7・4	議会運営委員会 7月臨時会 議会報特別委員会 (議会だより72号)
13	議会報特別委員会 (議会だより72号)
20	議会報特別委員会 (議会だより72号)
26	第32回町村議会広報研修会 (議会だより72号) (新潟市)
8・10	柳津霊まつり・花火大会 (福島県柳津町)
19	全員協議会 議会報特別委員会 (議会だより73号)
22	議会運営委員会 8月臨時会
29	新潟県後期高齢者医療広域連合 議会8月定例会
9・8	議会運営委員会 議会運営委員会 9月定例会召集日
13・8	予算審査特別委員会 決算審査特別委員会 社会産業常任委員会 総務文教常任委員会 定例会2日目(一般質問)
15・14	議会運営委員会 定例会最終日 全員協議会 議会報特別委員会 (議会だより73号)
22・20	

議会のついで (主なもの)

(平成23年7月～9月)

一般質問 **おたずねします**
お答えします

全員協議会の あり方について



中川正弘
議員

計画変更の説明は 議会に対し十分か

質問 議会には、発言の回数、時間などを制約しない、全員協議会という会があります。事前に提案予定の案件を審議し、円滑に回るようにするためのものです。しかし、そこで提案されたものが、説明なく変わるようでは困ります。

たとえば、海岸通りにウォーキングロードを整備する際に、鳴滝町の駐車場は他に類を見ない、芝生や植物を使った「植生ブロック」で行うとなっていました。しかし、現状はどこにでもあるアスファルト舗装になっています。議会には変更の報告はありませんでした。この変更は、いつ、誰が、なぜ変えたのかお答えください。

答弁 長期ビジョンは理想像が示されます。議会にお示し

するときは、これでよいと思いましたが、発注段階において、事業費がかさむこと、維持管理費がかかること、除雪などのメンテナンスが難しいことなどから、私の一存で変更しました。説明する機会があったにもかかわらず、なかった事につきましても、お詫び申し上げます。

議会は 審議する場所である

質問 事業費・管理費がかかることは事前に予測できたはずですが、議会に計画、議案を提出するときは、コロナ変わる原案でなく、成案を提出すべきです。

答弁 着眼は大局に立って、着手は小局に立って、進めていきます。多少の変更はご容赦願いたいと思います。

しっかりとした審議を

質問 全員協議会を活用して、審議が深まるよう、議会へは討議する議題だけでなく、今後、資料も添えて説明をきちつとするように求めます。親しいことは良い事ですが、仲が良いことと、なれ合いは違います。

答弁 事業執行に際しては、将来に禍根を残さないようにしていきます。なれ合いでなく、しっかりとした議論が出来るよう努めてまいります。



整備後の駐車場とウォーキングロード（羽黒町地内）

原発事故と当町の 安全対策は



三
輪
正
議員

**検査、
情報伝達などの取組は**

【質問】 6月議会でも質問いたしましたが、検査、情報伝達などの事故への取組みと今後の安全体制、対策についてどのように検討されているのか伺います。

**柏崎市、
刈羽村と同じ認識で**

【答弁】 当町は柏崎刈羽原発から20キロ圏内にすっぽり入っております。現段階では原子力防災計画は作成しておりませんが、今後は柏崎市、刈羽村と同じような条件と認識しながら、今後に対応してまいります。

放射能測定について

【質問】 6月議会の内容を再度伺います。放射能測定器は常備されているのか、またモニタリングポスト等の活用状況についてお聞かせください。

出雲崎の

**自然エネルギー活用
を検討せよ**

【答弁】 町は町民に対する安全、安心確保に全力を挙げています。器具については東京電力が責任をもって配置すべきと考えます。

**町民の安心、安全確保に
全力を挙げる**

山林の活用で

資源と災害防止を

【質問】 当町は約4,000haの面積を有していますが、山林が多くを占めています。

今、全国で原発事故以来、自然エネルギーを活用した発電として、太陽光、風力、小型水力、木質バイオなどの活用につ

いて検討されています。

海や山、特に山林資源は豊富にあり、自然（再生可能）

エネルギーの活用には非常に恵まれています。当町は、他に先がけて、これらを活用して「エコ先進地」を目指すべきと考えます。

特に山林の間伐による、ペレット利用等は、木材の価値を高め、土砂流出による災害防止にもなり、非常に有効で



東京電力による原発事故説明会

あります。是非、推進をすべきであると考えますが町長の考えを伺います。

**コスト面で厳しいが
今後、勉強していく**

【答弁】 自然エネルギーの活用は当然、考えていかなければならないと考えます。しかし、現在の買電価格ではコスト面で厳しい状態です。自然エネルギー再生法によって、買電価格も若干上がると思いますが、議会で共に勉強してまいりたいと思います。



田中 元 議員

財政運営によるスリム化は

【質問】 平成21年度末の基金残高は24億円強ありますが、平成24年度からは、県からの交付金、国からの交付税などで、約2億円の減額が考えられ、単純に考えると、現在の

予算規模で推移すると、10年後には、基金が底をつくことになりそうです。スリム化を進めている現在、さらなるスリム化を進めるとされた、行政の考えを伺います。

弾力的に状況判断をして進める

【答弁】 財政運営は、1+1は2になるという単純なものではありません。スリム化については、総務課長との相談の時、「本町は補正予算において、考える必要がある。」補正予算であるので、不足、緊急時の対応、当初からの政策的な対応で繰越金、交付税などの留保を見ながら補正対応しています。小さな町ならではの財政運営をしています。当初予算、補正予算において

も、すべてスリム化の対象としていながら、年度途中での事業執行の見直しを含め、将来を見据えた財政運営が必要です。中長期的財政運営は5年間で見た時、新たな施策、事業執行を含め、財政調整基金の保有残高を、15億円以上に保つ財政運営を考えています。出雲崎の現状の中で、何を緊急的に優先させ、何を待つべきか弾力的状況判断をしながら進めていきます。



緩やかな増税が始まるのか

【質問】 第5次総合計画の中で、納税意識の高揚と、受益者負担の適正化、補助金の見直しが盛り込まれています。これは財政が逼迫されることが考えられるなか、ゆるやかな

増税と考えるもよいか、特別会計の中で、保険関係の予算が窮屈になりつつある現況ではやむを得ないと思いますが、考えを伺います。

給付費が伸びれば負担も増える

答弁する町長

【答弁】 町民として納税は社会生活の中で、一人ひとりの義務であり、それにより社会が成り立っています。受益者負担のあり方については、上・下水道等の企業会計は独立採算であり、簡易水道は使用料で現在収入がとれています。下水道事業は、厳しい状況にあり、加入率を最高値まで上げ、次に使用料を検討していきます。国保、介護保険会計はいずれも給付費の伸びが顕著です。給付費が伸びれば、負担が増すのは当然なことです。当町では、3大疾病、人工透析の患者が新潟県下でトップクラスであり、これを少なくすることは最大の努力をしながら国保料の低減に努めています。町民の方々から病気にかからず安心して長く余生を過ごせる対応をしながら医療費を下げていくことも大事であると思えます。

議会だより第72号のアンケートにお答えします

モニタリングポストについて

・モニタリングポストは役場裏側の駐車場に設置されており、三ヶ月ごとに県より回収にきて、データーは県が管理しています。

風量計について

・風量計は町としては持ってありません。

線量計について

・線量計は町としては現在持っておらず、必要であれば県が貸し出すかたちをとっています。



役場裏にあるモニタリングポスト

議会企画講演会

演題 自然体験 子どもの宿泊体験活動

先般、9月16日に町議会の企画により、北海道から講師を招いて、「子どもの宿泊体験活動」と題しての講演会を開催しました。

がいない、また、以前は、見る・食べる・遊ぶ、だったものが近年は、体験する・交流する・学ぶ、になっていく。このとでした。

この講演会については、昨年、議員が行政視察で北海道豊浦町に行った際、研修を行っており、この様な第一次産業を活かした町の活性化を当町にも取り入れることができないうものかと考え、講師を招いて、町長をはじめ町職員や各団体の皆様などに講演を聞いていただきました。

当町においては、自主財源に乏しく、今後の町の活性化については課題の一つです。私達、議員をはじめ講演を聞かれた皆様が自分の住んでいる町を、もう一度見つめ直し、知ることも大切で、一丸となった町づくりをし

豊浦町は、人口約4,500人、高齢化率、約32・5%、人口は15年前に比べると、25%減少していますが、その中でこの体験型観光学習により民泊を中心とした修学旅行生を、受け入れ町の地域経済を大きく活性化しています。講師の先生がおっしゃるには、体験観光学習は、町にあるものを使うので新たな投資



講演会の様子

町民の声

自分の力で頑張る



川西 長谷川 浩



「しるし文化」と町づくり

定年を迎え、第二の人生を歩み始めたようとしたとき、勤めていた時には出来なかつたことを「あれもしたい。これもしたい。」と考えていました。

あるとき、アメリカの元大統領ジョン・F・ケネディの「祖国があなたに何をしてくれるかを尋ねてはなりません。あなたが祖国のために何ができるかを考えて欲しい。」といった演説を思い出しました。その名言に、これからの自分の生き方を考えさせられました。

それは、人に頼らず自分の力で頑張ること、互いに助け合うことです。

私は、現在いくつかの会に所属させてもらい、仲間とともに活動しています。それらをとおして、沢山のことを学ぶとともに、感謝・信頼の大切さを知りました。

みんなが、健康で生きがいのある生活（人によって違うと思うが、仕事・趣味・ボランティアなど）を送ることこそが、国（町）のためにできることではないだろうかと考えています。

表紙の小話



今回から議会だよりの題字が変わりました。活字の味気ない書体でなく、すばらしい文字です。

川西の南波秋海^{あきみ}さん、東京学館新潟校2年生の書です。南波さんの書は大人気で今年の第93回全国高校野球選手権大会開会式で智辯和歌山高校のプラカードを揮毫^{きぎょう}され、全日本高校・大学生書道展賞を受賞されています。新潟中央郵便局で年賀状発売日での大筆書きによる、書道パフォーマンス、その他、多方面で活躍されており、今後さらに大きな飛躍が期待されています。（小林泰三）

編集後記

東日本大震災から早くも7ヶ月以上たち、南相馬市から出雲崎町に来ている方が、すべての災害に対して安全な町づくりをとお話しておられました。

今年の町の防災訓練は、津波対策に重点をおき、10月30日に行われました。議会も町民の安全のため機会あるたび要望しています。

議会だよりは年4回の発行でタイムリーに発行はできませんが、町民に分かりやすい報告などに心がけたいと思っています。議会はいつでも傍聴できますので、議会を見たり聞いたりして下さい。（小林泰三）

議会だより

発行予定

発行は年4回、発行月は5月、8月、11月、2月です。

議会の傍聴にもおいで下さい。